



(自由市場に並ぶ、ブタ君。ちなみに1頭1,500円)

去る五月二十三日から六月一日までの一〇日間、「岐阜県経済同友会 ロシア経済視察団」の一員としてロシアを訪問した。

かつて、共産圏のリーダーとして、またアメリカと共に世界に君臨していたソ連邦のあまりにもあつけない崩壊報道。そして、我が国新聞やテレビを通して得る情報は、公設市場での何もないショーケース、青空広場での物々交換、パンやミルクを求めて行列をしている姿などが映し出され、このままでは今年の冬は相当な数の餓死者や燃料不足による寒さからの被害者が出るのでは? というような内容であった。

この激動の時期に様々な情報の飛び交うロシアの首都モスクワ、かつてのレニングラー

ド(現サンクトペテルスブルグ)を訪れることができたのは大きな収穫であった。実際訪れてみて、我々が聞いていたような無愛想で暗いと言う感じはなく、予想以上に国民は明るく人なつっこく、こざっぱりとした身なりであり驚いた。

確かに、一時的に商品が市場から消えたが、自由主義経済への移行と共に、自由市場では超インフレで値段は暴騰しているが、それに見合うお金を

を出せば通常の物は手に入る。事実我々が訪問した際にも、多彩な商品が山積みされ、売り子が懸命に声をかけ試食を促していた。青空市場でも、多くの人が物々交換や手持ちの品物を売っていた。

一方、かつては世界一を誇ったという石油生産も設備の老朽化と政治的混乱による生産減、そして、数少ない外貨を稼ぐ輸出を優先するという政策で、ガソリンスタンドにはいつ来るとも解らないガソリンを求めて行列ができ

ており、それも一人当り四〇ℓに制限され、価額も日々上昇している。パンやミルクを購

## 激動するロシア事情の視察と そこから学ぶもの

高井法博会計事務所

所長 高井法博

入するのにも長い行列ができ、また、至る所で子供が「一ドルくれ。(ルーブルではない)とか、「チューイングガムをくれ。」とか無心にくる。果たして、これらの子は、学校へ行っているのだろうか? と心配になる。タクシーにはマフィアが関係しているから

乗らないようにとのガイ

ドからの説明や軍用のピストルが一八〇ドルで手に入る等々、自由主義経済への変革の真只中で数々のひずみが噴き出している感があった。

しかし、視察中に訪れた世界三大美術館の一つに数えられているエルミターージュ美術館、レニングラード交響楽団の素晴らしい演奏、子供の頃から何冊も読んだロシア文学作品、車窓から見る数々の建造物に触れるにつけ、やはりロシア帝国を築き

あげた優秀な民族である。それが、一つの政治のあり方で祖先の遺産を食いつぶし、世界から援助を要請する三等国になってしまった。が、巨大な国土・資源・優秀な国民を持つロシアが、良いシステムで努力をしたならば、五〜一〇年で大変な力を持つてくると確信し

た。

企業経営もまさに同じで、その責任は重大である。社員は一生懸命働くことはできるが、会社の経営システム作りは、経営者しかできない。大きな舵とりシステム作りが、会社を基本的に変えてしまう。そのため、常に大局的に世の中を見て、会社の規模に見合う改革

を続けて行かねばならない。口で言うのは簡単であるが、この改革には大変なエネルギーがある。ビックリする程進まない。一つの方針を出す。それを組織に浸透させ、部下に改革の必要性を説き、変革を要請し、具体的に變えて行ける管理者が何人いるだろうか? できない理由はいくらでも出る。トップの意向を伝え、納得させるだけの人間関係と対話を持っている管理者を、何人育ているだろうか? いや、経営者は、これを明確に要請しているだろうか?

決断、決定をすることはいくらでもできるが、これだけでは無責任で、多少遅くても一つ一つ決めたことを積み上げ、定着させて行くことが重要である。

経営者は、精一杯たくさんの情報を集め、精一杯色々な勉強をし、目先の曖昧な情報に惑わされず、大局を見失わないように明確な目標を設定する。何を言われても迷わず、正しいと信ずる道を、

「決してあきらめないで」やり通してほしいと思う。